



「**枯竹**にたましいを」 プロジェクト

枯れた竹に新たな価値を！

「竹ソイル」「竹舗装」「竹チップ防草」の実証

2025年
4月2日

竹チップ 防草として利用

「草HAENDE-A」

「放置竹林問題」を解決しながら
「緑地の雑草問題」の解決

＜竹チップの実証試験をおこないました＞
実験内容

- ①強風で飛ばないか？
- ②大雨で流れないか？
- ③土留めがあると流れ出ないか？

企業様の緑地で使用していくときに
上記の質問が多く出ます。
実際に測定してデータを取り、どこまで竹
チップが耐えることができるかを試験します。
いろいろな場所で困りごとを解決できる
「枯れ竹」になれるよう実験は続きます。



竹ソイル 枯れ竹の活用

竹を微生物の力で分解し 「土の皇帝」チエルノーゼムを作る

2025年
4月13日

＜竹板を使用したプランターを製作しました。＞
サイズ 2m×1m 高さ60センチ 2個

使用目的は竹ソイルを使用した野菜の生育比較実証のためです。

- ①今まで使用していた土
 - ②竹ソイル+竹マルチ
- の2種類の実証用に2つ製作しました。

竹の板は非常に珍しいのでぜひ現物をご覧ください。

＜竹の板の特徴＞

- ①木と比べて大変硬い
- ②たわみにくい
- ③傷がつきにくい

トラックの荷台に採用される竹板です。

仕事の現場ではこの上をフォークリフトが走ったり、重い荷物が移動したりしますので大活躍です。

太い竹を張り合わせて製造します。



珍しい竹の板のプランター

竹ソイル
枯れ竹の活用

竹を微生物の力で分解し
「土の皇帝」 チェルノーゼムを作る

2025年
4月15日

＜竹ソイルの切り返しを行いました＞

①切り返し

②水分の追加

外部温度が上がり、微生物の活動も活発になり内部温度が上がっております。

竹ソイルの団粒化も見られ分解が進んでいます。
夏に向けて分解が進んでほしいです。



竹ソイル 枯れ竹の活用

竹を微生物の力で分解し 「土の皇帝」 チェルノーゼムを作る

2025年
4月15日

＜竹プランターに竹ソイルとあすてさんで使用の土を入れました＞
竹ソイルを使用した野菜の生育比較実証のためです。

以下を比較観察します

- ①外気温度と土の内部温度
- ②土の含水率
- ③野菜の生長

温暖化の影響で野菜が育たない被害が増えています。

竹ソイルと竹マルチで上記を解決できないか以下を実証します

- ①土の内部温度を上げない(温暖化対策)
- ②微生物の分解力で
肥沃な土壌を製造
夏野菜を栽培します。
生育を楽しみにしたい
です。

